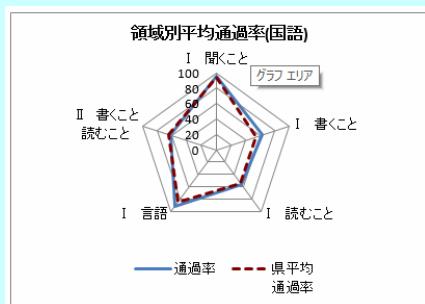


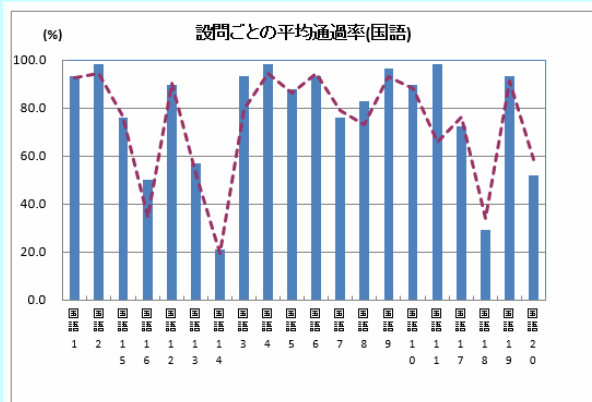
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 77.3 %, 県 73.6 %)

対県比 105 %

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校	%	対全国比	%
全国	%		

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題	B問題
本校 75.0 %	本校 67.4 %
全国 75.8 %	全国 65.8 %
県 76.5 %	県 67.0 %

本年度の結果について

・「基礎・基本」定着状況調査においては、教科全体では通過率77.3%で県平均を上回った。しかし、タイプIIの「書くこと(情報の取り出し・根拠を明確にした記述)」に課題がある。
 ・全国学力状況調査においては、B問題は全国平均を上回った。「表現の工夫について自分の考えをもつ」設問に課題がある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- 必要な情報を取り出し、事実を明確にして記述すること。(「LED電球をつかった信号機は熱くならないため」という情報が書けていない) 【設問 五4】(通過率51.7 県平均58.5)
- 必要な情報を取り出し、根拠を明確にして記述すること。(「発光ダイオードがフィラメントよりじょうぶでこわれにくい」という情報がとらえていない) 【設問 五2】(通過率29.3 県平均33.8)

【課題2】全国学力・学習状況調査

表現の工夫についての自分の考えをもつこと。(男の優しさを表現している会話文を、男がおびえているととらえている。また、男が懸命に救いを求めている描写を、緊張が徐々に高まる様子や必死に相手に立ち向かっていく様子にとらえている。) 【B問題 設問3一と3二】(通過率57.8と28.9 全国平均62.3と33.7)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

問いに対して、文章や資料のどの部分を根拠として記述をしたらよいか意識させることが必要である。特に説明的文章の学習の際に、根拠とする部分に線を引いたり、事実と意見を明確に読み分けたりする活動を行う。あわせて、指定された語を用いて制限字数内で記述ができるよう、キーワードをもとにした要約の練習などを行う。

【課題2】全国学力・学習状況調査

文学的文章の学習の際に、情景描写と心情の関連を読み取る指導を行うとともに、作者の表現の意図に気づかせる問いや課題を用意する。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1, 2年・中間テスト (タイプII対応問題)		I, 2年・期末テスト (タイプII対応問題)	1, 2年標準学力調査 (活用)	1年・H27「基礎・基本」	1年・学年末テスト (タイプII対応問題)
目標値		65%		65%	70%	タイプII 64%	65%
実施後数値	事実と意見を読み分ける学習		キーワードをもとに要約する学習		根拠となる部分を明確にして読み取る学習		

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年・中間テスト (B問題対応問題)		3年・期末テスト (B問題対応問題)		2年・H27「全国学力」	2年・学年末テスト (B問題対応問題)
目標値		65%		65%		B問題 68%	65%
実施後数値	作者の表現の意図を考える学習			情景描写と心情の関連を読み取る学習			